

地域の安全を守る

強い使命感を持ち、日々活動する人たちがいる

町内には、いつ・どこで起きるかわからない火災や災害時に、いち早く現場に向かう消防団員がいます。
消防団員は、火災発生時の初期消火や消防署員の後方支援などのほか、災害時の救助活動など、地域防災の要として重要な役割を担っています。

町の消防団員にインタビュー

第6分団第1部(小川台・台・小田部・母子)に所属する

林 和希さん(写真左)
並木 歩夢さん(写真右)



——地元地区の消防団に入団したきっかけを教えてください

並木：家族からの勧めで入団しました。(加入歴10年)

林：近所の方からの勧めで入団しました。(加入歴5年)

二人：地元に住んでいるので、これからも消防団活動を続けるつもりです。

——消防団活動の中で、記憶に残る出来事を教えてください

二人：消防ポンプ操法大会で優勝したことです。

並木：僕は、県大会に2回出場した経験があり、最優秀2番員に選ばれたことがとても嬉しかったです。

——消防団員としてどのような使命感をお持ちですか

二人：消防団員として、「自分の地域を守る」という使命感を持って活動しています。初動活動は、とても重要な役割だと考えています。

《敬称略》

町の消防団員にインタビュー

第3分団第3部(上町)に所属する

井上 雄太さん(写真左)
伊藤 真史さん(写真右)



——地元地区の消防団に入団したきっかけを教えてください

井上：結婚を機に横芝光町に転入しました。

知り合いがいなかったもので、消防団に入団すれば地域の人たちと関わりを持つて思ったのがきっかけです。(加入歴11年)

伊藤：僕も同じです。他県から転入してきたので、自分から入団したいと伝えました。(加入歴8年)

——消防団活動の中で、記憶に残る出来事を教えてください

二人：4年前、上町区が操法大会で優勝したことがとても嬉しかったですね。大会前の数か月間は、特に地域の仲間たちと練習する機会が増え、一致団結して取り組みます。

優勝した時は、チームが一つになったことを共有できた瞬間でした。

——消防団員としてどのような使命感をお持ちですか

二人：地域の安全と財産を守るために活動しています。

井上：操法大会に向けての練習や年間活動の中で生まれる一体感や規律は、実際の火事や災害時にとても生かされていると実感しています。

《敬称略》